



第19回 市民環境活動報告会 盛況のうちに開催

第19回市民環境活動報告会実行委員長 柳川 三郎

今回の報告会の特徴

第19回目を迎えた今回の市民環境活動報告会では「温故創新(51%の夢・未来をつくろう)」をテーマとして2013年3月2日(土)に開催しました。私たちが大切にしてきた事柄を極め、精一杯な日常活動をさらに活かしていくために、市民が自主的にそれぞれの知見を高め、新しいエコ・環境保全活動を創り出していく場を提供できたと思います。参加者にとって、市民力が一段と向上してきた証を、各々心にとめたことでしょう。

基調講演「大学と地域の環境活動との連携」

神奈川工科大学応用化学科 高村岳樹教授の基調講演では、地域の小学校・中学校・高等学校で大学力を確実に発揮・実践した授業の効果を、明解に発表していただきました。出前授業を行う相手方のニーズをしっかりと把握し、限られた時間の中で授業を実施することの難しさについて述べられ、今後我々にとっても同様の課題をより深く考えていく必要があるという事が、強く印象に残りました。

口頭発表4題

(1) 森に行こう! 森を知ろう! 森と語ろう! 全国森林インストラクター神奈川会員の専門知識や経験を、社会のために役立てている各種の輝く活動実績は“すごい”の響きでした。

(2) 環境まちづくりの実践報告 環境市民会議ちがさきエコワークが行政との協働による取り組みと課題について、持続可能な社会を求めて絶えず努力をしているという発表内容でした。

(3) 成り立ちと楽しい活動を紹介 藤沢市せっけん推進協議会 30年以上に亘って合成洗剤の危険性とせっけん優位性を伝えての活動はまさしく「継続は力なり」の発表内容でした。

(4) ヨコハマ3R夢活動を学校給食の牛乳びんリユース実施で具現化しよう ~ヨコハマの環境活動にびんリユースをPR~ かながわ環境カウンセラー協議会では神奈川県内で学校給食に牛乳びんがほとんど使われていない事に注目して、リユース活動

を展開している発表でした。

テーブルセッション4テーマ

興味のあるテーマについて、意見やもっと詳しく議論したい人、環境保全活動の参考として学びたい人たちが、じっくりと語り合いが出来て大変好評でした。10数名が各テーブルを囲み、積極的で一生懸命な姿は何か生まれそうな予感を感じた瞬間でありました。

4つのテーマ(1)「自然環境保全」についての中で湘南茅ヶ崎周辺の海浜の植生再生への頑張りを知ったことは価値がありました。(2)「行政と協働」については、行政と市民の対等な議論と活動の積み上げがいかに難しいか、しかし努力を続けていくことの大切さについて、じっくりと話し合われました。(3)「3R」については、生ごみのたい肥化の実践が細かく話し合われました。(4)「災害」については、東日本大震災から2年経った被災地の様子が詳細に話し合われました。



テーブルセッションの様子

結び

次回は第20回目の記念すべき市民環境活動報告会となりますので、各位が参画へ意欲を高めていただきたいと考えています。実行委員会形式も着々と向上して、委員が前向きに考えを出し合うことができるようになり、体制は整備されてきました。このような報告会を通して、環境保全活動の輪はさらに広がっていくと強く感じています。

はまぎん こども宇宙科学館 洋光台サイエンスクラブ

環境体験教室 12 授業を当会が実施します！

環境体験教室実行委員 田口 繁雄、小林 信雄

平成 25 年度 当会が担当実施する環境体験教室

「はまぎん こども宇宙科学館」は横浜市磯子区の洋光台にあります。館長は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の名誉教授である的川泰宣氏で、子どもたちが世界へ羽ばたく跳躍台になって欲しいとの願いがコンセプトです。この科学館には「洋光台サイエンスクラブ」という、子どもたちが科学実験や工作を楽しむ会員制のクラブがあります。

この「洋光台サイエンスクラブ」が開催する環境体験教室を、当会が担当することになりました。教室は月 1 回のペースで年間 12 教室（右表参照）が開催されます。この環境体験教室は、自然科学や省エネなどを体験し、工作を楽しみながら地球環境について理解を深める授業です。この 12 教室に加え、8 月には夏休みイベント 4 教室も計画されています。

環境体験教室の内容は、子どもたちが身近な生物を観察し、成長の仕組みを体験的に学びます。また、電気の性質を実験しながら学び、節電や省エネ、地球温暖化を考えます。更には、廃材のリサイクルや環境ゲームを楽しみながら自然環境のキーワードを体得する授業などです。これらの授業を通して、次世代を担う子どもたちの自然環境を学ぶ好奇心を育み、環境問題へのモチベーションが高まることを期待しています。

No.	月 日	環境体験教室 名称
1	4 月 27 日（土）	海藻の標本を作ろう
2	5 月 11 日（土）	いろいろな電池を作ろう
3	6 月 22 日（土）	廃食油でキャンドルを作ろう
4	8 月 24 日（土）	廃食油で石けんを作ろう
5	9 月 28 日（土）	ソーラークッカーを作ろう
6	10 月 26 日（土）	ネイチャーゲームで楽しもう
7	11 月 30 日（土）	ソーラーオルゴールを作ろう
8	12 月 14 日（土）	ケナフで紙すきを体験しよう
9	1 月 25 日（土）	紙でからくりアートを作ろう
10	2 月 1 日（土）	環境にやさしい入浴剤を作ろう
11	2 月 22 日（土）	人工の雲を作ろう
12	3 月 22 日（土）	手回し発電機を作ろう

開始時間は午前 9 時 40 分



洋光台のイメージ



授業例

この年間 12 回の教室は、当会の各部会全体での取り組みとなります。これら教室をスムーズに進めるために、講師となる皆様には共通の認識を持って取り組んでいただく必要があることから、環境体験教室全体の共通事項をまとめ、実施計画書を発行しました。講師の方々のご協力をお願いするとともに、新たに講師となってくださる会員の皆様の参加を募っております。詳細は実行委員までお問い合わせください。

特別講演会 および 平成 25 年度 総会開催 のご案内

事務局 桑原 清

平成 25 年度総会を下記の通り、開催いたします。万障お繰合せの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。欠席される正会員の方は委任状または議決権行使書をご提出ください。詳しくは「総会資料」をご覧ください。総会に先立ち特別講演会を開催いたします。総会終了後には懇親会を予定していますので、ぜひご参加ください。

~~~~ 記 ~~~~

特別講演会「神奈川県 PM2.5 について」

講師 県環境科学センター 小松 宏昭 氏

日時 平成 25 年 5 月 25 日 (土) 13 時 30 分 ~ 15 時

平成 25 年度総会

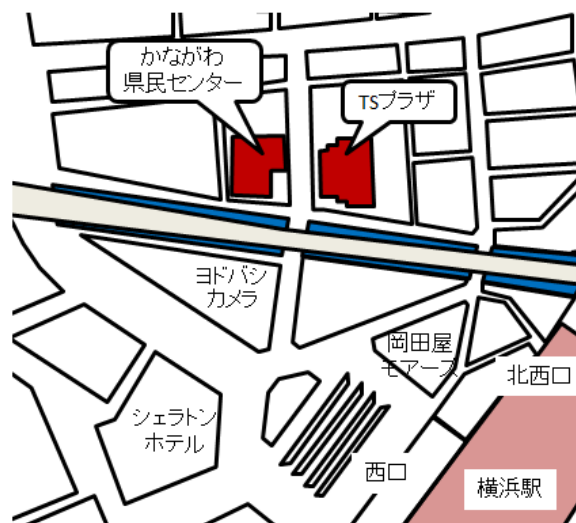
日時 平成 25 年 5 月 25 日 (土) 15 時 30 分 ~ 17 時

場所 かながわ県民活動サポートセンター

3 階 304 会議室 (横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2)

懇親会 同日 17 時 30 分 ~ 19 時

場所 津多家 (つたや) 横浜鶴屋町店 (TS プラザビル B1)



### かながわコミュニティカレッジ連携講座

## 環境ボランティア入門講座 開催

事務局 桑原 清

今年度もかながわコミュニティカレッジ連携講座「環境ボランティア入門講座」を開催します。従来「環境ボランティア養成講座」として 6 回講座を開催しましたが、今回から名称を「入門講座」に改め、内容も初心者にも親しみやすい内容に一新しました。今回は各分野において経験豊富な当会会員が講師を務め、自然環境、水環境、ケナフ、エネルギー、大気環境、グリーンの各部会活動を紹介し、活動の一部を受講生に体験していただきます。

これから環境ボランティア活動を開始しようと考えている方だけでなく、すでに活動している方や主婦、学生のご参加もお待ちしています。多くの方が環境問題に関心を持ち、活動に取り組む人が増えることを願っており、こうした人達が当会と一緒に活動を展開できることを期待します。

詳しい講座の内容については、当会ホームページ <http://npo-k-leader.net/> をご覧ください。

- 5 月 28 日 (火) 13:30 ~ 17:00 コミカレ講義室
  - 基調講演「環境ボランティア活動」
  - 代表理事 柳川三郎
  - オリエンテーション 事務局 桑原清
- 6 月 4 日 (火) 13:30 ~ 17:00 県立谷戸山公園
  - 自然観察 内藤克利
  - 水生生物調査と水質調査 飯田富佐江
- 6 月 11 日 (火) 13:30 ~ 17:00 コミカレ講義室
  - ケナフ紙すきと紙管工作 荒谷輝正
  - 地球温暖化と省エネルギー推進 安藤紘史
- 6 月 18 日 (火) 13:30 ~ 16:50 コミカレ講義室
  - 大気環境測定と指標生物モニタリング
  - 猪股満智子
  - 買い物を通じ地球環境を考える
  - 代表理事 柳川三郎
- 6 月 25 日 (火) 13:30 ~ 17:00 コミカレ講義室
  - ボランティア団体の組織運営 事務局 桑原清
  - ワークショップ





## 節電チャレンジ「2年目の冬実績」結果

代表 柳川 三郎

寒い冬にもかかわらず11月から1月の3ヶ月で1.7%の節電実績

節電チャレンジ活動は、幹事団体として神奈川県地球温暖化防止活動推進センターが行い、コンソーシアム構成によって実施されて2年目の冬となりました。

今回2年目となる平成24年度の冬は、全体で節電チャレンジの回収が3,772世帯となり、回収率としては前年比16%以上の増加となりました。

### 当会での集計結果

昨年に比べて12月の気温が低かったため、電力使用量は増加してしまいましたが、冬の3ヶ月合計で昨年比1.7%の減少・節電の実績となりました。

当会会員及び関係者による節電チャレンジシートの回収は150世帯となり、理事6名と関係者が協力して推進いたしました。尚、本活動により得られた活動費用は、貴重な収入源として当会の運営費となっております。

当会会員及び関係者から回収されたシートの集計では、冬の11月から1月の3ヶ月で1.9%の節電実績となりました。ちなみに当会員・関係者の契約アンペア数の状況は30アンペア32%、40アンペア31%となっています。また、当会員・関係者の冬行動内容を抜粋しましたので、皆様の参考にしていた

だき、引き続き節電に努力していただければと思います。

### 行動内容抜粋

- \* 今まで省エネ節電に無関心、これから節電に努めます。
- \* エアコンの設定温度を気をつけるようになった。
- \* オール電化にした時契約アンペアを大きくしたが、昨年見直して低いアンペア数にした。
- \* 高齢者がいるので暖房節電が厳しい。
- \* コタツの下に断熱シートを敷いた。この調査で去年との電気量の比較ができることを知った。
- \* 昨年と比較してほとんど変わらないが少し増えている、節電意識が足りないかと反省しています。
- \* 照明器具は壊れた都度LEDに変えています。
- \* 電気ポットをなるべく使わない。
- \* 冬の暖房設定温度を20にした。
- \* 冷蔵庫を最新省エネタイプに変えた。便座を省エネ最新タイプに変えた。前年比30%節電出来ました。

### まとめ

皆様、平成25年度の夏も節電チャレンジを実施することが予定されていますので、会員の皆様の積極的な節電チャレンジ活動ならびにご協力をお願いいたします。

## 神奈川県青少年科学体験活動推進協議会に加入しました

広報部長 田口 繁雄

当会は、神奈川県立青少年センターが中心となり県内の教育に関係する各種団体やNPOなどが参加して設立した「神奈川県青少年科学体験活動推進協議会」に、平成25年度から加入しました。

本協議会は、理科好きな子ども達を支援し、科学体験活動の啓発や普及を図っていくための活動を実施しています。当会は、環境をキーワードとして参画して行きます。活動内容が確定しましたら、別途お知らせします。

- ・ 神奈川県青少年科学体験活動推進協議会 HP  
<http://kanagawa-yc.jp/kyougikai/>




 新入会員紹介

## リーダー会入会にあたって



品川 高儀（厚木市）

昨日まで

第一次オイルショックの時に大学を卒業し、進学して就職を延期したら大学院を終わる頃に第二次オイルショックとなり、不況の幕開けでした。それでも先輩に拾われて現在の会社に入り、主に発電所の環境アセスメントを仕事にしてみました。高校は山岳部と生物部、大学はワンダーフォーゲル部といえば山男を想像されるかもしれませんが、当時は貧乏学生で山歩きのみ楽しめなかったというのが本音でした。公害から環境へとキーワードが変化する重要な時期だったことを思い起こします。

専門は分析化学・地球化学で、仕事柄、動植物も勉強する機会がありました。54歳になって1ヶ月ほど入院している間に受験勉強をして森林インストラクターの資格を取りました。平成19年春から、会社のCSR活動のほか、尾瀬や近隣公園の自然観察会ガイド、子どもキャンプなどを手伝い、出前授業も引き受けることになりました。さらに本格的に勉強をしようと平成23年には環境カウンセラーになり、さらに翌年、当会の活動に参加することにしました。現在は、全国森林インストラクター神奈川会で会報編集と企画部会、安全を担当しています。


 オイルショックを経て  
環境に関わる


今日まで

かながわジュニア・フォレスター教室の発端は、平成22年に神奈川県で開催された第61回全国植樹祭での私たちの県民提案が契機となりました。この子ども向け教室のコンセプトは、森を対象に「知る」、「暮らす」、「遊ぶ」の三本のテーマで展開することです。子ども自身が森林に親しむ動機を意識できる小学生から高校生までを対象としています。特に年少者については親子参加でき、個別の活動内容によってはチームを編成するなど、共同作業による調理も取り入れた工夫を行っています。また、学年間の親密な交流を形成するとともにリピーターとして通年参加できるよう工夫しています。さらに、この中から緑の少年団におけるリーダー層に相当する人材を育成して、「子どもOB会」として森に親しむ活動の仕組みを取り入れました。

そして明日へ

リチャード・ループ著、春日井晶子訳『あなたの子どもの自然が足りない』（2006年、早川書房）によると、自然との接触が足りない子どもたちには、感情表現や他人を思いやることなどが出来なくなる自然欠損障害の存在が指摘されています。

私たちの自然環境を利用した活動が、子どもたちの健全な成長に少しでも資することを願いながら活動を続けていきたいと考えています。具体的な企画に当たっては、社会ニーズと教育計画の整合を図りつつ、活動コンセプトを提案していくことが重要です。基本は「やさしく、面白く、安全に」を合言葉にして遂行しています。活動のしおり、安全計画書、進行シナリオの文書三点セットは必須です。参加した子どもたちには、子どもOB会に加わり継続した活動を約束し、この活動がかながわ方式として定着することを願っています。継続は力、力は文化につながることを信じて続けて参りたいと思います。


 子どもたちの  
健全な成長に  
自然環境を！


尾瀬沼・長蔵小屋で（筆者は右から二人目）

## 部会活動



### ケナフ部会

部会長 荒谷 輝正

活動報告(2月~4月)

対外活動

- ・横浜市南区からの依頼で、2月22日放課後キッズクラブで小学生1~3年を中心に計約65名を対象として、段ボールで作った輪投げゲームを使って「ゴミの分別ゲーム」を実施。正しいゴミ分別を学んでもらうため、実際のゴミと輪投げを併用して実施しました。また、家庭で親子が話し合えるように資料を持ち帰ってもらいました。

部会活動

- ・2月6日 圃場の整理、2月22日放課後キッズク

ラブでの「ゴミの分別ゲーム」の準備

- ・3月16日 圃場の管理、次年度のケナフ等の植付け準備



### エネルギー部会

部会長 桑原 清

活動報告(2月~4月)

定例部会(かながわ県民センター)

2月13日 R709、3月13日 R705、4月10日 R710



横浜市南区出前授業

横浜市南区からの依頼で、2月20日と3月19日の2日、南区内の2カ所の放課後キッズクラブで小学生1~3年を中心に計約100名を対象として、環境学習の出前授業を実施しました。低学年が主体なので、環境の話をして理解するのは少し難しいため、省エネをテーマにしたゲームや手回し発電機による発電体験、エコかるた取りなど、遊びながら子どもたちと一緒に過ごしました。これらの体験を通して、子どもたちが何かを感じ取ってくれたら良いと思っています。(写真左)

### 大気環境部会

部会長 猪股 満智子

活動報告

- ・3月9日 定例部会 NPOセンター大船  
12月度 NO<sub>2</sub> 測定結果の検証、新捕集管「エコチエッカー」方式による測定乗換え検討

NO<sub>2</sub>濃度の沈静化と街の発展に伴い、道路状況にも変化がみられます。部会参加は難しいが、NO<sub>2</sub>濃度や状況を知りたいという方、測定協力という形で参加しませんか？(問い合わせ 猪股 Tel&Fax 0467-32-6858、e-mail : km\_inmt@ybb.ne.jp)

### 水環境部会

部会長代理 飯田 富佐江

古谷氏の急逝により飯田富佐江が部会長代理になりました。

活動報告

- ・2月15日 平塚環境科学センター 部会員の顔合

わせと今後の活動についての話し合い。レベルアップ研修(萩谷氏による講座)

- ・3月30日 県立座間谷戸山公園 コミュニティカレッジ(6月4日)のための下見と打ち合わせ



## グリーン部会 部会長 柳川 三郎

### 活動報告

- ・1月31日 バイオエナジー(株)生ごみから電気・都市ガス化の企業視察
- ・2月16日 地域生態系の講座へ講師担当
- ・2月28日 米作増量化へ冬鳥タゲリ研究
- ・3月19日 横浜ゴムへ生物多様性についてアドバイザー

## 自然環境部会 部会長 吉田 榮一

### 活動報告

- ・2月11日 部会 平成25年度活動計画など
- ・2月28日 横浜市環境創造局「生物多様性でYES!」応募書類提出。



## 部会活動予定一覧

| 部会名   | 活動内容                       | 活動場所           | 活動日時                      | 責任者名   | 連絡先                                    |
|-------|----------------------------|----------------|---------------------------|--------|----------------------------------------|
| ケナフ   | ケナフ部会例会                    | 県環境科学センター      | 5月18日(土)<br>10:00-16:00   | 荒谷 輝正  | teruaratani@tc5.so-net.ne.jp           |
| エネルギー | 5月例会・勉強会                   | かながわ県民センターR709 | 5月8日(水)<br>15:30-17:30    | 桑原 清   | kiykuwahara@gmail.com<br>090-3247-6647 |
|       | 6月例会・勉強会                   | かながわ県民センターR709 | 6月12日(水)<br>15:30-17:30   |        |                                        |
|       | 7月例会・勉強会                   | かながわ県民センターR710 | 7月10日(水)<br>15:30-17:30   |        |                                        |
| 大気環境  | 定例部会                       | NPO センター大船     | 5月18日(土)<br>13:30-16:30   | 猪股 満智子 | km_inmt@ybb.ne.jp<br>0467-32-6858      |
|       | NO <sub>2</sub> 大気 24 時間測定 | 参加者地元          | 6月6日(木)夕方<br>~7日(金)夕方     |        |                                        |
|       | NO <sub>2</sub> 濃度分析       | 県環境科学センター      | 6月22日(土)<br>13:30-16:30   |        |                                        |
| 水環境部会 | 水生生物調査                     | 酒匂川            | 4月14日(日)<br>13:30-        | 飯田 富佐江 | 090-4963-1204                          |
|       | 水生生物調査                     | 川音川            | 5月12日(日)<br>9:30-         |        |                                        |
| 自然環境  | スキルアップ研修                   | 東京ガス 環境エネルギー館  | 4月24日(水)<br>13:30-16:30   | 石井 栄   | environment.art.research@gmail.com     |
|       | 部会                         | かながわ県民センターR603 | 4月29日(月・祝)<br>14:15-16:00 |        |                                        |
|       | 部会                         | かながわ県民センターR708 | 7月15日(月・祝)<br>14:15-16:00 |        |                                        |

# 事務局だより

事務局 桑原 清

参加協力お願いします!

理事会開催予定

5月9日、6月13日、7月11日

詳しくは事務局にお問合せください。

オフィス移転しました

当会も参加している「よこはま市民共同オフィス」が移転し、4月2日開所式が執り行われました。

新住所：〒231-0016 横浜市中区真砂町 3-33

セルテ 11F よこはま市民共同オフィス内

FAX、E-mail、ホームページの変更はありません。



開所式で乾杯の音頭をとる吉田理事

運営委員募集

当会理事会の運営をサポートしていただく運営委員を募集しています。広報、会計、事務局等の業務を支援していただける方は下記までご連絡ください。支援の内容は毎月第二木曜日に開催される理事会への出席の他、ご自宅でのパソコン作業が主体です。

連絡先 事務局 E-mail : npo.k.leader@gmail.com

「よこはま夢ファンド」を利用した  
当会への支援のお願い

広報部長 田口 繁雄

前号でお知らせした通り、「よこはま夢ファンド」から「第19回市民環境活動報告会」に助成金が交付されました。これにより本報告会も盛況に開催でき、環境活動の輪を広げる成果を上げることが出来ました。当会は今後とも環境保全活動等に「よこはま夢ファンド」を活用していきますので、会員皆様の「よこはま夢ファンド」への寄附（神奈川県環境学習リーダー会指名）による当会へのご支援をお願い致します。なお「よこはま夢ファンド」への寄附金は、寄附して頂いた方に税の優遇措置（寄附金控除など）が受けられます。

「よこはま夢ファンド」のホームページ  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/tishin/shiminkatsudou/fund/>

(一部環境省いきものみっけ連携)

## 気候変動を見守ろう

久方ぶりの厳しい冷え込みで桜の芽の「休眠打破」が進んだ上に、全国的にその後の気温上昇で過去最速の1週間前後早い開花となりました。急な暖かさに小動物ウグイス、モンシロチョウ、ヤマアカガエルのオタマジャクシ、ツバメ等、早くに確認できました。餌や居心地等は適当か？繁殖に影響しないか！地球規模の気候変動が進めば、様々な影響が懸念されます。

身近な生物を指標に初確認日をご報告願います。

キーワードは「いつ、どこで、初見、初聞き」

春～夏の対象：ウグイスの初鳴き、ツバメの子育て、

コシアカツバメ、イワツバメ、ホトトギス、カク

コウ、モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、ア

オスジアゲハ、アサギマダラ、ナガサキアゲハ、

アカボシゴマダラ、ハルゼミ、ヒグラシ、ミンミ

ンゼミ、アブラゼミ、クマゼミ、ツクツクボウシ

遠出をする必要はありません。自宅周辺、外出の際などに、ほんのちょっと注意をはらうと、毎年の気候変化が手に取るよう。1種でも結構です。見つけたもの、聞いたものと簡単な地名をご報告願います。県版データ化しています。一度確認した場所を毎年追ってみるのもいいですね。

送り先：大気環境部会 猪股 Tel/Fax 0467-32-6858

Eメール： [km\\_inmt@ybb.ne.jp](mailto:km_inmt@ybb.ne.jp)

特定非営利活動法人

神奈川県環境学習リーダー会 会報 第82号

発行日：2013年4月22日

発行者：代表理事 柳川 三郎

編集人：田口 繁雄 広報部長

〒231-0016 横浜市中区真砂町 3-33

セルテ 11F よこはま市民共同オフィス内

FAX：050-3488-4943

E-MAIL： [npo.k.leader@gmail.com](mailto:npo.k.leader@gmail.com)

ホームページ： <http://npo-k-leader.net/>

寄付、会費等納入口座：ゆうちょ銀行

00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会

不許複製 © 神奈川県環境学習リーダー会

2013 Printed in Japan